

【草花の部屋】

サワフジバカマ（キク科ヒヨドリバナ属 *Eupatorium × arakianum*）

和名：サワフジバカマ（沢藤袴） 別名： 英名：

キク目 多年草 原産地：

花言葉： 花の色： 淡紅紫、白



← 写真-1 サワフジバカマ

撮影日：2012年10月14日

撮影場所：M邸（大和郡山市内）にて

撮影者：Mさん



→ 写真-2 サワフジバカマの葉

撮影日：2012年10月14日

撮影場所：M邸

（大和郡山市内）にて

撮影者：Mさん



← 写真-3 サワフジバカマの花

撮影日：2012年10月14日

撮影場所：M邸（大和郡山市内）にて

撮影者：Mさん

友人から譲り受けたものです。フジバカマだと告げられていましたが・・。どうやらサワフジバカマのようです。フジバカマは「秋の七草」の一つで、万葉の時代から人々に親しまれてきた植物です。現在の日本には自生に適した環境が少なくなったため激減し、絶滅危惧種となっています。

サワフジバカマは、フジバカマ (*Eupatorium japonicum*) とサワヒヨドリ (*Eupatorium lindleyanum*) の間にできた雑種で、和名はフジバカマにサワヒヨドリの“サワ”を組み合わせたものだそうです。園芸店などで「フジバカマ」と名札をつけられて販売されているものは本物のフジバカマではなく、サワフジバカマの場合が多いようで、そのためサワフジバカマをフジバカマそのものであると誤解している人が多いそうです。

<ちょっと一言>

サワフジバカマとフジバカマの違いですが・・。

- ・サワフジバカマの草丈は、高さ 0.5～1m 程度。
フジバカマは高さ 1.5～2m ほどにもなる大型の草本。
- ・サワフジバカマの花色は淡紅紫色を帯びる。
フジバカマは基本的に白花。
- ・サワフジバカマの葉は無柄で基部から 3 深裂して 3 枚の葉のように見え、裂片は幅が細く披針形。
フジバカマは葉の基部まで裂けることはほとんどなく、葉身部分が深裂した形で 3 裂しない葉も多い。
- ・サワフジバカマの茎は赤味を帯びる。
フジバカマは緑。生育環境によって、赤味を帯びるものもあるそうです。